

当会社アンケートによる県内経済

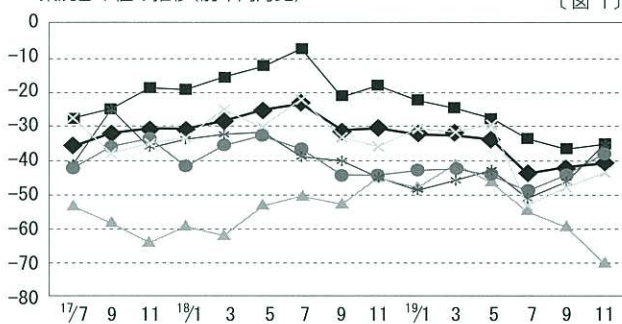
全産業

前年同月比については、業況D I値は-40.8で前回の9月調査に比べ1.9ポイントのプラスとなり若干上昇傾向となっている。業種別の業況D I値を前回と比較すると、建設業以外の業種では上昇傾向となったが、建設業の総合建設において下降割合が大きい結果となっている(図1)。生産・販売高(完成工事高)D I値は-27.0で前回より11.0ポイントのプラスとなっている(表1)。業種別の生産・販売高(完成工事高)D I値を前回と比較すると、卸売業及び建設業でやや下降傾向となったものの、小売業及び製造業で上昇傾向を示し、中でも小売業においては百貨店・スーパー、飲食物品等の上昇割合が大きく、製造業では繊維製品、化学・石油、家具・装備品等で上昇傾向となっている。

3ヶ月先見通しについては、業況D I値が-42.8で前回に比べ9.3ポイントのマイナス、生産・販売高(完成工事高)D I値は-35.7で27.3ポイントのマイナス見通しとなっている(表2)。業種別の生産・販売高(完成工事高)D I値を前回と比較すると、全ての業種で下降傾向を示し、中でも建設業の総合建設やサービス業のホテル・旅館業、卸・小売業の衣料関係、製造業では化学・石油や食料品等で大幅な下降見通しとなっている。

営業利益率は、前年同月比で-50.6と前回に比べ2.2ポイントのマイナス、3ヶ月先見通しでは-47.2と6.2ポイントのマイナスとなっており、資金繰りについては前年同月比-27.8で3.8ポイントのマイナス、3ヶ月先見通しでは-35.9で7.4ポイントのマイナスとなっている。

〈業況D I値の推移(前年同月比)〉



〔図1〕



〔表1〕

	業況	生産・販売高	営業利益	資金繰
今回(11月)	-40.8	-27.0	-50.6	-27.8
前回(9月)	-42.7	-38.0	-48.4	-24.0
前回比	1.9	11.0	-2.2	-3.8

〔表2〕

	業況	生産・販売高	営業利益	資金繰
今回(11月)	-42.8	-35.7	-47.2	-35.9
前回(9月)	-33.5	-8.4	-41.0	-28.5
前回比	-9.3	-27.3	-6.2	-7.4

製造業

製造業全体の前年同月比では、業況D I値は-34.9で前回に比べ1.5ポイントのプラス、生産・販売高D I値は-17.2で前回に比べ17.6ポイントのプラスとなっている。また、3ヶ月先の見通しでは、業況D I値は-33.3で前回に比べ9.1ポイントのマイナス、生産・販売高D I値は-25.4で23.8ポイントのマイナスとなっている。

業種別の業況では、前年同月比で上昇が7業種、下降が9業種となっている。生産高では、前年同月比で前回と比較すると繊維製品、化学・石油、家具・装備品、織物、精密機械器具、一般機械器具等で上昇傾向となっている。3ヶ月先の見通しでは、精密機械器具は上昇傾向、家具・装備品は良好の見通しであるものの、化学・石油、食料品、窯業・土石製品では大幅な下降傾向の見通しとなっている。

業況(前年同月比)

〔表3〕

	食料品	織物	繊維	木材製	家具装	紙製	出版	化学	窯業	鉄鋼	非鉄	金属	一般	電気	輸送	精密
今回(11月)	-44.2	-20.0	-25.0	-57.1	-50.0	14.3	-44.4	-33.3	-60.0	-12.5	-20.0	-37.5	-36.8	-29.6	-14.3	-25.0
前回(9月)	-46.7	-44.4	-16.7	-50.0	-66.7	-20.0	-80.0	-50.0	-58.8	11.1	0.0	-50.0	-28.6	-20.8	12.5	0.0
前回比	2.5	24.4	▲8.3	▲7.1	16.7	34.3	35.6	16.7	▲1.2	▲23.6	▲20.0	12.5	▲8.2	▲8.8	▲26.8	▲25.0

生産高(前年同月比)

〔表4〕

	食料品	織物	繊維	木材製	家具装	紙製	出版	化学	窯業	鉄鋼	非鉄	金属	一般	電気	輸送	精密
今回(11月)	-27.9	-10.0	25.0	-42.9	0.0	14.3	-44.4	0.0	-13.3	12.5	0.0	-37.5	10.5	-22.2	33.3	-25.0
前回(9月)	-37.8	-55.6	-57.1	-37.5	-66.7	0.0	-70.0	-75.0	-47.1	11.1	0.0	-27.8	-30.0	-33.3	12.5	-66.7
前回比	9.9	45.6	82.1	▲5.4	66.7	14.3	25.6	75.0	33.8	1.4	0.0	▲9.7	40.5	11.1	20.8	41.7

(注1) 各業種の数値はD I値にて表示している。D Iは「好転」、「変わらず」、「悪化」の問いに対し、「好転」と答えた%から「悪化」と答えた%を引いた値。

県内経済の動き11月調査
現状やや上昇ながら、
3ヶ月先見通しに
懸念感あり

見通しであるが、衣料品、食料品では売上高が大幅な下降見通しであり、特に飲食料品においては、総じて悪化とする割合が依然高く、厳しい見通しとなっている。その他問題点としては売上の伸び悩みや競争激化は依然として高い割合であるが、仕入価格上昇と回答した割合もやや高くなっている。

〔表 7〕

	業況 前年同月比	売上高 前年同月比	業況 3ヶ月先	売上高 3ヶ月先
11月	-35.4	-17.8	-40.3	-29.5
9月	-45.3	-37.4	-48.4	-7.8
7月	-51.6	-36.4	-36.4	-21.2

サービス業

前年同月比の業況D I 値は-37.8で前回到比べ6.2ポイントのプラス、売上高D I 値も-22.3で5.7ポイントのプラスとなっている。業種別に見る売上高では、その他サービス(娯楽、産廃等)やホテル・旅館で大幅な上昇傾向となっているものの、旅客運送や自動車整備は下降傾向となっている。

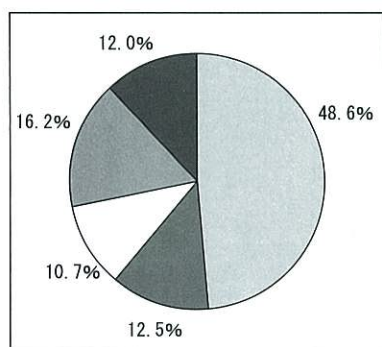
3ヶ月先見通しについては、業況D I 値は-35.5で19.5ポイントのマイナス、売上高D I 値は-43.2で39.2ポイントの大幅なマイナスの見通しとなっている。業種別の売上高では、前年同月比で上昇傾向を示したホテル・旅館が大幅に下降する見通しとなっており、貨物運送、旅客運送においても下降する見通しとなっている。一方、情報サービスや自動車整備では、やや上昇する見通しとなっている。その他問題点としては、仕入価格上昇の割合が高くなっており、その他に原油高の影響や人材不足、金利上昇の問題としている回答もあった。

〔表 8〕

	業況 前年同月比	売上高 前年同月比	業況 3ヶ月先	売上高 3ヶ月先
11月	-37.8	-22.3	-35.5	-43.2
9月	-44.0	-28.0	-16.0	-4.0
7月	-49.1	-33.4	-26.4	0.0

調査の概要 平成19年11月時点調査(郵送法)

調査対象 県内39業種 1,000社
有効回答企業 383社 (回答率38.3%)
業種内訳 製造業 186社 建設業 48社 卸売業 41社
小売業 62社 サービス業 46社



〔図 2〕



建設業

前年同月比の業況D I 値は-70.8で前回到比べ11.6ポイントのマイナス、完工高D I 値も-62.6で4.2ポイントのマイナスとなっている。業種別に見ると総合建設で、完工高や収益面では前回より差異はないものの、業況が大幅に下降傾向を示し、他業種より厳しい状況となっている。種別工事(内装工事やガラス工事等)は完工高でやや下降傾向としたものの、業況としては上昇傾向となっている。

3ヶ月先見通しについては、業況D I 値は-76.6で10.0ポイントのマイナス、完工高D I 値は-65.2で33.3ポイントの大幅なマイナス見通しとなっている。業種別に見る完工高では、種別工事において上昇傾向の見通しであるが、総合建設では大幅な下降傾向の見通しとなっている。その他問題点としては公共工事減少とする割合と競争激化が増加している。

〔表 5〕

	業況 前年同月比	完工高 前年同月比	業況 3ヶ月先	完工高 3ヶ月先
11月	-70.8	-62.6	-76.6	-65.2
9月	-59.2	-58.4	-66.6	-31.9
7月	-56.8	-41.2	-49.1	-43.1

卸売業

前年同月比の業況D I 値は-43.8で前回到比べ3.6ポイントのプラス、売上高D I 値は-48.8で6.7ポイントのマイナスとなっている。業種別に見る売上高では、前回到比べ建築材料やその他商品(薬品や日用雑貨等)で大幅な下降傾向となっている。また、依然として衣服では悪いとする割合が大きい状況となっている。

3ヶ月先見通しについては、業況D I 値は-58.6で21.8ポイントのマイナス、売上高D I 値も-50.0で29.0ポイントの大幅なマイナスの見通しとなっている。業種別に見ると、売上高はほぼ全業種で下降傾向の見通しとなっている。営業利益率では建築材料、衣服が大幅な下降傾向の見通しとなっている。その他問題点としては依然として売上の伸び悩みを掲げる割合は大きい、その他に販売価格の低廉と回答した割合も今回やや高くなっている。

〔表 6〕

	業況 前年同月比	売上高 前年同月比	業況 3ヶ月先	売上高 3ヶ月先
11月	-43.8	-48.8	-58.6	-50.0
9月	-47.4	-42.1	-36.8	-21.0
7月	-54.7	-45.2	-42.8	-31.0

小売業

前年同月比の業況D I 値は-35.4で前回到比べ9.9ポイントのプラス、売上高D I 値は-17.8で19.6ポイントのプラスとなっている。業種別の売上高では、百貨店・スーパーやその他小売、飲食料品等で前回より上昇傾向を示したものの、仕入価格の悪化傾向の割合が高く、営業利益率も依然として悪いとする割合が大きい状況となっている。

3ヶ月先の見通しについては、業況D I 値は-40.3で8.1ポイントのプラス、売上高D I 値は-29.5で21.7ポイントの大幅なマイナス見通しとなっている。業種別に見ると、自動車では前回到比べ上昇傾向の